

月を愛でる—その3

民話の会 仲山 富夫

1. 月の起源をさぐる、

約 45 億年前、火星ほどの大きな物体が地球に衝突し地球の地殻の一部を剥ぎとり分離させた、そしてそれらは地球の周回軌道に行き、年月を要して最終的に合体して月を形成した（ジャイアント・インパクト）というのが有力な説だそうです。（それで、月の地質を採取して検証しているわけですね）

2. 月の公転と自転は一致してる、

月は地球の周りを 1 回公転する間に、それと同じ向きに月自身が 1 回自転しているのでもいつも同じ面を地球に向けているんだそうです（地球の引力との関係でそうなったそうです）。

3. 地球の周りを公転する月の軌道は楕円形で、

2024 年で見ると、2 月の満月と 10 月の満月との、地球との距離の違いは、最も地球から遠い満月は 2 月 24 日（スノームーン）、最も近い満月は 10 月 17 日（ハンターズムーン）



約 40.6 万km



約 35.7 万km

4. 各月の満月の呼び方、

満月の名前は、アメリカの先住民がつけて呼んでいたと言われています。

8 月の「スタージョン」はチョウザメのことです。サメの仲間ではなく、世界三大珍味の一つであるキャビア（卵）を産む魚です。北アメリカの五大湖周辺で盛んに行われていたチョウザメ漁が最盛期を迎えるため 8 月の満月は『スタージョンムーン』と名付けられました。満月を眺めながらみんなでチョウザメの豊漁を願ったのでしょう。1 月の『ウルフムーン』から 12 月『コールドムーン』まで、先住民の生活の物語があるのでしょね。

各月の満月の呼び方



5. 月が地球から遠ざかると言われています、「ええー！ ほんとう…」

私達は、幼いころからいちばん月を眺めて来たかもしれせん。

家の縁側に、収穫した野菜の「お煮しめと団子」、そしてススキを供えて、親たちと『中秋の名月』を愛でながら、お月さんの影の模様を「兎の餅つき」と教わり信じていました。

それから今、月は地球から 1 年に 3.8 cmほど遠ざかっていると知りました、私にはそのメカニズムは解りません。

今、月にまつわることごとくを思い出しながら満月を見上げると、感慨深くなります。

あらら、紙面がなくなりました、では、「月を愛でるーその1・その2・その3」を終わります。

完